Allied Health Sciences

北里大学
医療衛生学部
ニュース
Vol. 19

2016年11月1日 発行

北里大学医療衛生学部 半期の主なニュースと魅力を満載!!

海外出張報告

人の思いがつなぐ国際交流

視覚機能療法学専攻
視能検査学
教授 半田 知也

この度、学長助成金による日米欧国際チーム医療演習プログラム策定にかかる欧州大学の打ち合わせの為に、プラハ（チェコ共和国）のカレル大学とウイーン（オーストリア共和国）のFH CAMPUS WIENに4泊6日で海外出張して参りました。この度の訪問団は北里英郎学部長、清和成教授（健康科学科）、高橋香代子准教授（作業療法学専攻）、事務室より阿部祥子課長補佐、宮田まどか、井上早紀子、そして私（半田知也　視覚機能療法学専攻）の7名でした。北里英郎学部長のご友人との繋がりにより両大学で素晴らしい歓待を受け、国際チーム医療プログラムへの参加及び今後の継続的交流について充実した打ち合わせができました。早速、本年度2月末～3月初旬に今回訪問したFH CAMPUS WIENより2名の学生（作業療法士、視能訓練士）が国際チーム医療演習プログラムのために来訪されることになりました。学部全体でウェルカムな雰囲気を作って二人を迎えたいと思います。今回の海外出張を通じて、海外の友人を持つことの大切さと、医療衛生学部の教職員が一体となり仕事をすることの重要性を改めて認識しました。訪問時のプラハの空は青い絵具を塗ったような雲一つない青空（奇跡的！）でした。プラハは中世の街並みがそのまま残り、町全体が博物館のように美しく、食事も美味しく物価も安い、再度訪問したいと思う素敵な町でした。

カレル大学にて

FH CAMPUS WIEN